



SEALINE LD40P

取扱説明書

●各部の名称と操作方法

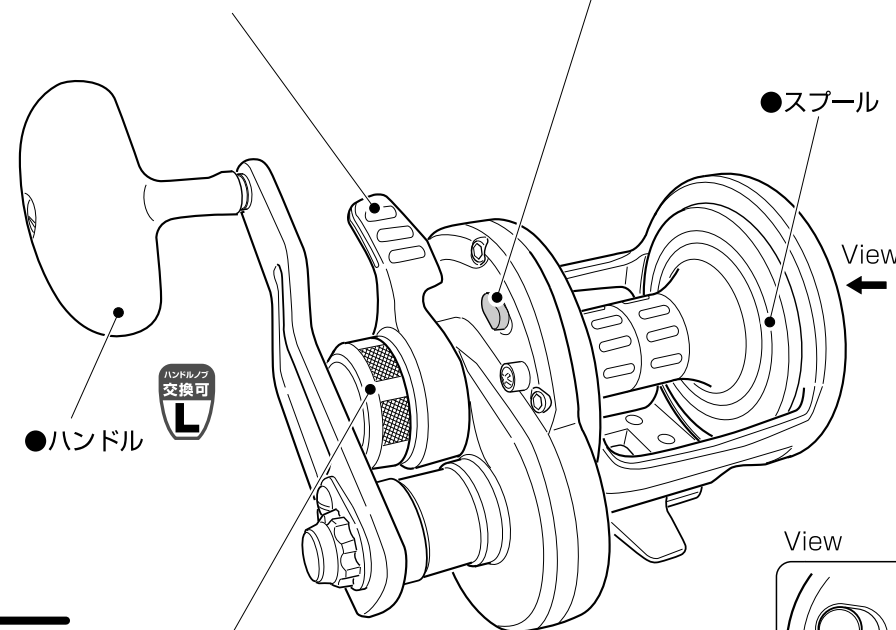
この度は、SEALINE をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。このリールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの説明書をよくお読みください。また、リール同様この説明書も大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

●レバードラグ

- レバードラグでドラグ力を調整することができます。
- レバーを手前にするとスプールがフリーになります。

●ストライクポジションボタン

- レバードラグはストライクポジションで止まります。さらにドラグ力を上げる場合は、ボタンを押してレバードラグを操作してください。



●ハンドル

●ドラグプリセットノブ

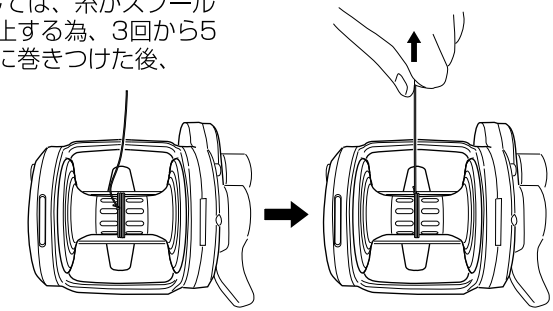
- プリセットの操作はドラグレバーをいったん手前に引いてから行ってください。(プリセットを締めすぎるとスプールフリーにならないのでご注意ください。)

●クリックノブ

- クリックをスライドするとスプール回転時クリック音が出ます。

●スプールにPEラインを巻きはじめ時の結び方

PEライン使用に際しては、糸がスプールから空転するのを防止する為、3回から5回程、糸をスプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認した後、糸巻きを開始してください。



●取扱い・保管上の注意

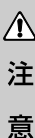
- 落下などのショックを与える事で異音の発生や、スプールのフリー性能が変わることがあります。お取扱いには充分にご注意ください。
- 保管の際は必ず竿から取り外してください。また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。
- リールを長時間(数ヶ月以上)お使いにならない時は、リール作動部を時々動かす事をおすすめ致します。

●安全上の注意



- 糸をリードするレベルwindの所に指を近づけて釣りをしないでください。怪我をするおそれがあります。
- 糸が勢いよく出ている時は、糸に触れないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- 幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながるおそれがあります。
- キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、怪我をするおそれがあります。
- ハンドルとボディの間に指をはさまないように注意してください。指をはさまれて怪我をするおそれがあります。
- 糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。ヤケドや、指をはさんで怪我の原因になるおそれがあります。

●安全上・ご使用上の注意



- 根掛かりした時は、無理に竿をあおらず糸を手にとって切るようにしてください。竿をあおると、竿折れの原因になります。(その際は、手袋やタオルで手を保護してください。)
- リールのワンウェイクラッチ部に注油しないでください。ハンドルが逆転し、手にあたり怪我をするおそれがあります。
- ドラグを長時間連続使用すると、ドラグ収納部が熱くなり、ヤケドをするおそれがあります。
- ドラグ付きリールで遠投する際には、ドラグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにしてください。
- リールを長時間収納するときは、水分を完全に切り、なるべく通気性のよい場所に保管してください。
- ドラグ付きリールは、釣行後にドラグを緩めて保管してください。ドラグをキツく締めたまま保管すると、ドラグワッシャーが濡れ、ドラグ性能が低下する事があります。
- 本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。
- 使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻き糸量、糸巻き状態に差異が生じることがあります。
- 落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。

- 塩分を含んだ海水などで道糸が湿った状態のまま保管するとスプールの腐蝕するおそれがあります。水道水を糸巻き部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから保管してください。
- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないようにご注意ください。
- クラッチを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。(ラインがロックした状態等で、クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチ及びストッパー、ギア等の破損につながります。)
- ルアーやワームをリールに引っ掛けるのはお止めください。リールを傷つけたり、塗装がはがれたりすることがあります。
- シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装がはがれたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手に付いたまま本機を扱うこともお止めください。
- 弊社純正品以外の取り付けによる不具合は保障できません。また、弊社純正品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせて頂く場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
- 製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

『パーツ情報 確認方法』

パーツ情報については【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください



QRコードまたは検索

ダイワパーツ検索システム

●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品注文の際はご購入の販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からもご利用できます
TEL 0120-506-204 【受付時間】9:00~17:00
(土・日・祝祭日は除く)

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

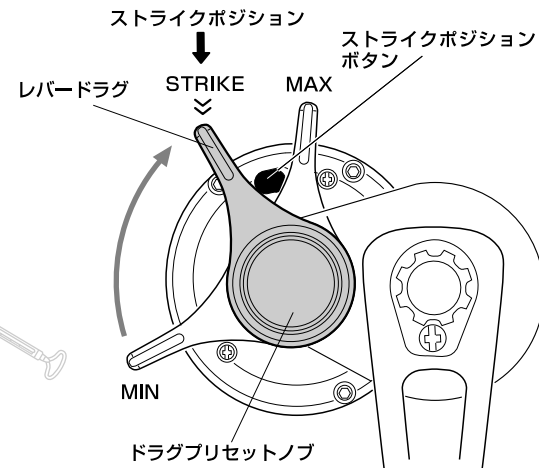
www.daiwa.com/jp/

グローバル株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

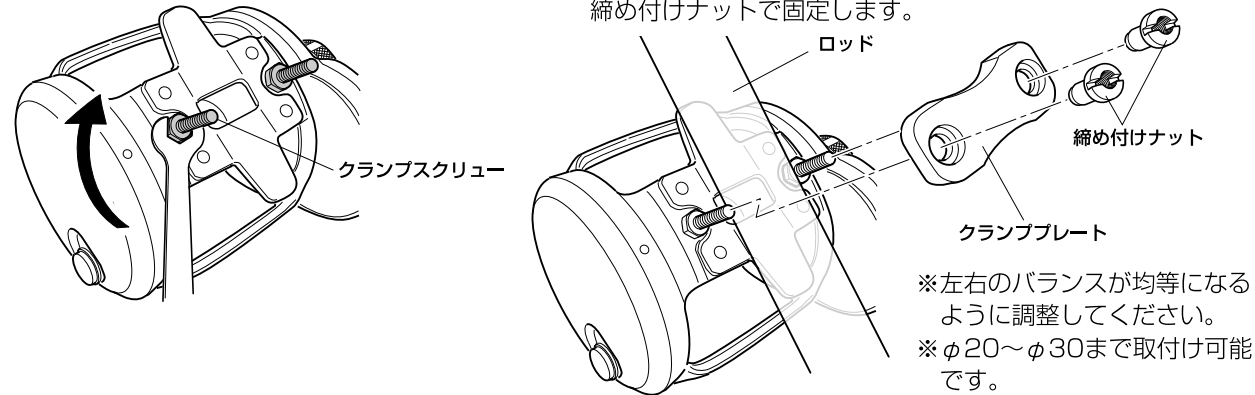
●ドラッグ力の調整設定

- 1.レバードラッグをストライクポジションにして、ドラッグ力を測ります。(ストライクポジションボタンの位置で止まります)
- 2.レバードラッグを一番手前の位置にしてください。
- 3.ドラッグ力を強くしたい時は、ドラッグプリセットノブを右方向に、弱めたい時は左方向に回します。
※ドラッグプリセットノブを右に回しすぎた場合は、レバードラッグがMINの位置でもスプールはフリーになりませんのでご注意ください。
- 4.レバードラッグをストライクポジションにして再度、ドラッグ力を測定します。以上の操作を繰り返してドラッグ力を調整します。
※レバードラッグをMAXにする時は、ストライクポジションボタンを押して倒してください。



●ロッドクランプ取り付け方法

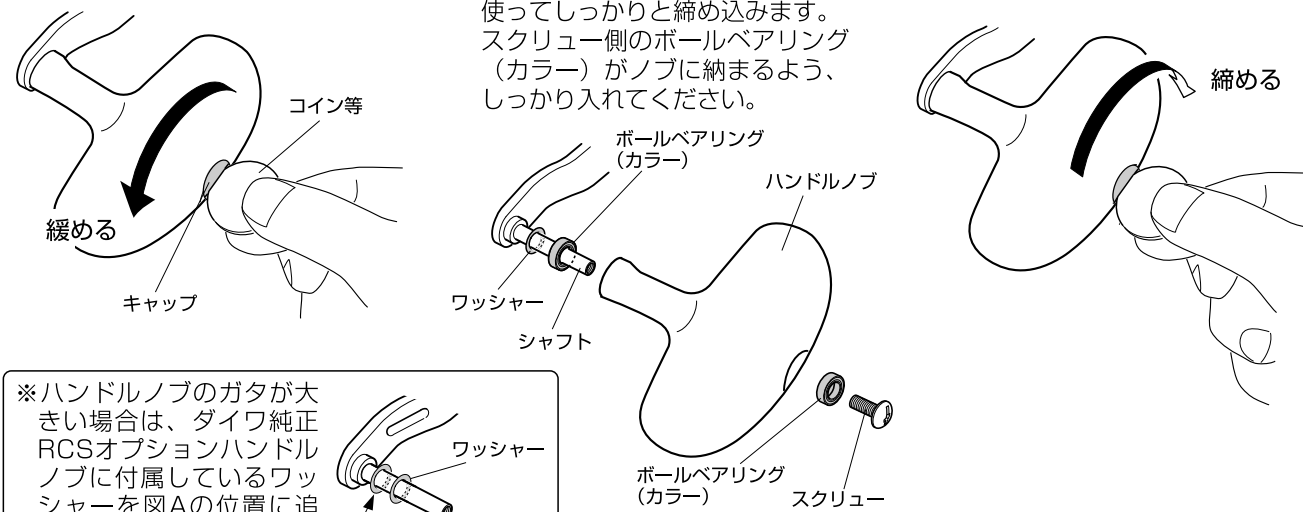
- 1 クランプスクリューを図のように、リールの下のネジ穴に締め付けます。
- 2 リールをロッドにセットし、ロッドをはさみこむように、ロッドの下からクランププレートをあててドライバーで締め付け、締め付けナットで固定します。



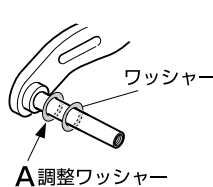
※左右のバランスが均等になるように調整してください。
※φ20～φ30まで取付け可能です。

●ハンドルノブ取付方法 ※Lサイズノブと互換性があります。

- 1 コイン等を使用し、キャップを反時計回りに回し外します。
- 2 図のように、組み込んでください。スクリューはプラスドライバーを使ってしっかりと締め込みます。スクリュー側のボールベアリング(カラー)がノブに納まるよう、しっかり入れてください。
- 3 キャップ部をコイン等で時計回りに回し、取り付け完成です。



※ハンドルノブのガタが大きい場合は、ダイワ純正RCSオプションハンドルノブに付属しているワッシャーを図Aの位置に追加してください。(追加する場合、ワッシャーを入れすぎるとハンドルノブが回転しなくなるのでご注意ください。)



※スクリューにはゆるみ止め防止剤が付いていて、ゆるみにくくなっています。ネジ山を傷めないようにご注意ください。

●重要！お手入れ方法

- 本製品は、精密部品で構成されています。下記の注意事項を守ってお取り扱いください。
- 錆や塩分の固着によるトラブルを防止する為にも、以下の要領で、釣行後必ずメンテナンスを行なっていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により、初期性能は低下する可能性があります。
- 本製品を未永くお使いいただくためにも、年に1度は(株)スポーツライフラネットヘアーホールに出すことをおすすめします。(有料)

- 推奨オイル：ダイワ純正リールガードオイル REV ボールベアリング用オイル
- 推奨グリス：ダイワ純正リールガードグリス
- ※市販の防錆潤滑剤等のご使用は結果的にボールベアリング・グリス等の耐久性を損なうおそれがありますので、絶対におやめください。

＜順序＞

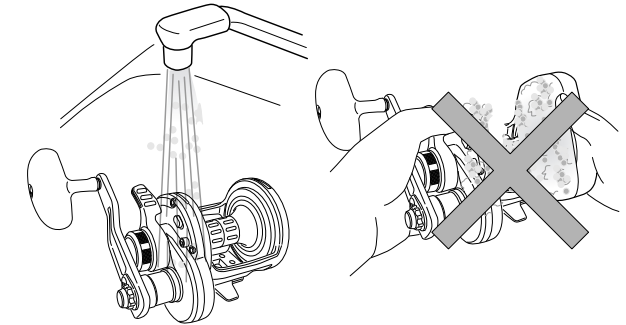
①使用後はリールを竿から取り外し、なるべく早く水洗いしてください。摺動部や回転部に残った塩分や汚れを洗い流すためです。

※特に海水域で使用したまま乾燥すると塩が結晶化してしまい、水洗いの効果が低下します。

・ドラッグを締め込んでからシャワー等の真水で最低3分程度かけて、各パーツを水洗いしてください。

・サイドプレート、スプール、本体いずれも、様々な角度から水を掛け流してください。内部に残った海水や塩の結晶を溶かして洗い流すイメージです。

※温水による洗浄やリールを水没させての洗浄、洗剤等での洗浄は絶対におやめください。適材適所で使い分けているオイルやグリスを流出させてしまいます。結果的にボールベアリング、ギアなど重要回転部品の耐久性を損ないますので絶対におやめください。



②洗浄後はよく水を切って乾燥させてください。

・よく水を切るために、ハンドルやスプール等の作動部を動かしながら行うと効果的です。

※海水で使用された後は、スプール外周部やフレーム内部などの水分をタオルなどでふき取ってください。乾いて塩分が結晶化すると、スプールやフレームを傷つけてしまう場合があります。

・ドラッグを緩め、水抜き穴を下にして陰干ししてください。また、直射日光を避けてなるべく通風性の良い場所で乾燥させてください。

※濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

・内部の水分が完全に乾燥するまでは5日ほどかかります。乾燥中は、出来れば1日1回程度、ハンドルやスプールなど作動部を動かしてください。

※溶剤(シンナーなど)では手入れしないでください。

③以下の注油規定に則り、必ず注油してください。

④保管の際は、ドラッグを緩めてください。

■注油規定 ⚠️ ※注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。

【ハンドルノブへの注油(グリス)】

1 図の様にハンドルノブへ注油します。

※グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。

※ギア部等リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。

※落下などのショックを与える事で異音の発生や、スプールフリー性能が変わることがあります。お取扱いには充分にご注意ください。

※リールを長時間(数ヶ月以上)お使いにならない時は、リール作動部を時々動かす事をおすすめ致します。

※水抜き穴への注油は絶対におやめください。

※ドラッグ部分には絶対オイルを付けないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。

※ギア部等リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。

